

別表第1の1 田の比準表

- 1 各筆の田の比準割合は、次の算式によつて求めるものとする。この場合において、各筆の田の各項目の数値は、該当する「標準田の状況」欄に対応する「比準田の状況」欄の数値によるものとする。
 [算式] 比準割合 = $(1.00 + \text{日照の状況} + \text{田面の乾湿}) \times (1.00 + \text{面積} + \text{耕うんの難易}) \times \text{災害}$
- 2 比準割合は、一枚の田（耕作の単位となつてゐる一枚の田をいう。以下同様とする。）ごとに、この比準表を適用して求めるものとする。この場合において、一筆の田を二枚以上に区分して利用しているときは、原則として、一枚ごとに求めた比準割合をそれぞれの面積によつて加重平均して、当該筆の田の比準割合を求めるものとするが、中庸と認められる一枚の田が得られる場合には、当該一枚の田について求めた比準割合によつて求められるものとする。

項目	標準田の状況	比準田の状況	よく日があたる	多少日かげになる	かなり日かげになる	はなはだしく日かげになる	判 定 基 準
日 照 の 状 況	よく日があたる		0	—	0.03	—	0.06
	多少日かげになる	+	0.03	0	—	0.03	—
	かなり日かげになる	+	0.06	+	0.03	0	—
	はなはだしく日かげになる	+	0.10	+	0.07	+	0.03
田 面 の 乾 湿	標準田の状況	地下水位の低い乾田	地下水位の低い乾田	半湿田	湿 田	たん水田	沼 田
	地下水位の低い乾田	0	-0.02	-0.05	-0.08	-0.11	-0.15
	地下水位の高い乾田	+0.02	0	-0.03	-0.06	-0.09	-0.13
	半 湿 田	+0.05	+0.03	0	-0.03	-0.06	-0.10
	湿 田	+0.09	+0.06	+0.03	0	-0.03	-0.07
	たん水田	+0.12	+0.10	+0.07	+0.03	0	-0.04
面 積	標準田の状況	694m ² 以上	297m ² 以上 694m ² 未満	99m ² 以上 297m ² 未満	99m ² 未満		
	694m ² 以上	0	—	0.03	—	0.10	—
	297m ² 以上 694m ² 未満	+	0.03	0	—	0.07	—
	99m ² 以上 297m ² 未満	+	0.11	+	0.08	0	—
	99m ² 未満	+	0.25	+	0.21	+	0.13
耕うんの難易	標準田の状況	機械耕、畜力耕が容易にできる	機械耕、畜力耕ができる	人力耕であればできる	人力耕によつてようやくできる		
	機械耕、畜力耕が容易にできる	0	—	0.07	—	0.16	—
	機械耕、畜力耕ができる	+	0.07	0	—	0.10	—
	人力耕であればできる	+	0.19	+	0.11	0	—
	人力耕によつてようやくできる	+	0.29	+	0.20	+	0.08
災 害	標準田の状況	な い	や や あ る	相 当 に 有 る	はなはだし い		
	な い	1.00	0.90	0.80	0.70		
	や や あ る	1.11	1.00	0.89	0.78		
	相 当 に 有 る	1.25	1.13	1.00	0.88		
	はなはだしい	1.43	1.29	1.14	1.00		